



森と海自然活動報告

琵琶湖干拓と信長のまち「安土」報告

担当 C グループ里川

日時：2022 年 6 月 16 日（木）

参加者：17 名

※ JR 安土駅改札口前集合 10 時：資料配布後、曇空の中を出発。

<順路> 安土駅～活津彦根神社～「小中之湖土地改良区事務所」へ到着、会議室へ。

西川理事長・奥田幹夫事務局長から、琵琶湖干拓の歴史、地域の水を自然の力で浄化する水質保全の「当事務所の活動取り組み」・「活動の仕組み」等をお聞きする。当科メンバーからも質問あり。

（資料）小中之湖地区（国営造成施設管理体制設備促進事業）昭和 17 年太平洋戦争中、米の増産を目的として琵琶湖の干拓が始まる。その一つの弁天内湖・伊庭内湖の干拓「琵琶湖干拓小中之湖土地改良区」を今回見学訪問。西川理事長・奥田事務局長から、活動運営で苦労話が含まれた内容でした。

終了後、施設「ポンプ室・水門・疎水現場」に同行。「各業務役割」説明を受ける。次は屋外へ。

小中之湖土地改良区現場へ、奥田事務局長さんからは管理地域エリアの水質保全池付近まで足を延ばして説明を受ける。昼時間で終了。ここで奥田事務局長とお別れする。

葦原湿原地周辺で昼食。

ここから、戦国武将：織田信長の「安土城下町」散策へ出発する。北川疎水・音堂川疎水場へ向けて歩く。城下町内の道順は、くねくねと入組んだ通路を歩いて、やっと目的地に到着！疎水には、大きな鯉がゆったりと泳いでいて、心身共に和みました。周辺には料亭も散見。休憩で英気を貰ってスタート！水田の横道を抜け、織田信長が建てた、浄厳院に到着！広い敷地内の由緒ある建物をゆっくりと回り、最後の見学先へ、水の入った田んぼ沿いの道を歩いて JR 安土駅近くの「安土城郭資料館」に到着して一休み！休憩後、館長さんから解り易い解説で、館内に築城の「安土城郭」で、各階部屋の構造説明と役割等の説明を受ける。城郭の大きさに驚きました。当時の時代では「安土城」は仰天する驚きだったと思われます。館内は、各階毎に沢山の資料や展示物等が豊富に陳列されていて時間が足らなかった。ここで各位自由散会！今日はかなりの歩きでした。お疲れ様でした。

（注釈）＊小中之湖の（作業）水を抜いて土地にした。（土は黄土）。面積全体：333 h

＊濁水、農薬で富栄養化している

（対応策）干拓地からポンプで水を揚げている。ポンプ室能力（6 台設置。秒／5 トン）

（1 H：50m 以上～200m）25m プール 1 分位で満杯になる。）

＊水質を浄化している・ヨシを繁殖させている。葦原の草刈 年／4～5 回

＊干拓地からポンプで水揚げした水は・葦原に迂回させて水浄化させている。

（対応策）＊麦・野菜の農家団体（450 人）草刈 年／4～5 回実施、他

北川(喜多川)湧水：現在でも野菜洗いなど町内の生活水として使われていて、湧出した水は常に注いでいる。

円満地藏尊の横から湧き出ている、足湯ならぬ足桶(あしおけ)が設置されていて、地元住民の憩いの場にもなっている。水温が一定に保たれているので、冬場は温かく感じ、寒い日には湯気が立つほどだとか。夏にはスイカや野菜を冷やすのにも使われ、子供たちの水遊び場となっている。

音堂川(おとんどがわ)湧水：この一帯も清水が流れ、「**梅の川**」と称される場所では、現在は水脈が途絶えているそうだが、耳を澄ますと水が湧いているような音が聞こえる。**梅の川**には信長の家臣・武井夕庵が、茶の湯用の水を汲みに来ていたという伝承が残っている。難波より持って来た珍茶を、この水で入れたところ、信長が非常に喜び、その後の茶の湯には常に使用したと伝えられている。

浄厳院(じょうごんいん)：現在の浄厳院の地には、正平年間(1346年－1370年)近江守護佐々木六角氏の六角氏頼により建立された天台宗寺院の慈恩寺威徳院があったが、慈恩寺はその後、兵火により焼失した。天正5年(1577年)、織田信長は、近江国栗太郡金勝山(こんぜさん)の浄土宗の僧・「浄厳坊明感」を安土に招くと信長は慈恩寺の旧地に一寺を開き、明感を開山として浄土宗寺院・浄厳院を建立した。天正7年(1579年)5月には、信長の命により浄土宗と日蓮宗の僧による仏教論争(安土宗論という)が当寺で行われた。裁定の結果、宗論は日蓮宗の敗北と決したが、この裁定の背後には信長の強い政治的意思があったといわれている。

JR 安土駅南広場にある安土城郭資料館。この資料館には、織田信長が築城した安土城のひな形が実物の20分の1の大きさで再現されている。安土城は金箔瓦をいただき、外観5層内部7階で、内部は狩野永徳(かのうえいとく)の襖絵や異国文化の調度で飾られていた豪壮華麗な城である。安土城は、本格的な天守閣をもった初めての城といわれている。外人宣教師ルイス・フロイス(1532－1597)が本国に送った書簡に書いたことで、ヨーロッパ中に紹介された。その天守閣が細部まで忠実に再現されており、安土城の姿を偲ぶことができる。ローマ宣教師によって献上され、日本で初めて織田信長が飲んだといわれるローマコーヒーを味わうことができる。